

# こんな所に古墳が！？ ポツンと群集墳

## 発掘新聞

2025年(令和7年)  
3月31日

編集・発行  
九州歴史資料館  
0942-75-9575



上空から見た久富古墳群 = 福岡県みやこ町

京築地域における  
古墳時代史の解明へ

令和6年度に当館が行ったみやこ町犀川に所在する久富古墳群の調査が終了した。今回調査が行われたみやこ町は、県内でも有数の古墳密集地域であり、国指定史跡の綾塚古墳や橘塚古墳など大型の古墳が所在することで知られている。

本調査では、古墳時代終末期(7世紀)の古墳が4基、小石室が2基確認され、石室の中からは坏蓋(つきふた)や提瓶(さげべ)といった土器が出土した。



久富1号墳(写真上)と久富2号墳(写真下)



1号墳では天井部に大きな一枚岩を使用するのに対し、2号墳では天井部に小さな石をドーム状に組み上げる手法が取られ、隣接して築造された古墳であってもその築造技法が異なることが明らかになった。

担当者は、「良好な状態で墳丘や周溝が残っていたり、埋葬された土器のセット関係も確認でき、重要な調査成果となった。調査期間中は、古墳の石材が脳裏に焼き付き、夢の中でも古墳の調査をしていたこともあったが、今となっては良い思い出。」と語った。(出見記者)

出るか未来の考古学者  
地元の歴史に思いを馳せ

令和6年10月16日にみやこ町立犀川小学校3年生を対象とした現地見学会が行われ、22人の児童が参加した。参加した児童からは、「こんな所に古墳があるなんて知らなかった。」「自分たちの住んでいるみやこ町のことをもっと好きになった。」「などの声がかれた。」「発掘調査の仕事がおもしろそうだと思った。」「将来発掘調査の仕事がしてみたい。」「などの声も聞かれた。担当者は、「子供たちが、地域の歴史や文化財に興味をもつ良いきっかけになれば。」と語った。(出見記者)



現地見学会の様子 = 令和6年10月16日、みやこ町